

SIDR

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

《月報》 平成 25年 1月 (第1～5週)

発行年月日：平成25年(2013年) 2月20日

発行：滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といい、届出により全国または滋賀県で発生している一～四類および五類感染症の発生状況を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 25年		平成 24年*1		感染症 類型	疾 病 名	平成 25年		平成 24年*1	
		1月		1～12月				1月		1～12月	
		滋賀県	全 国	滋賀県	全 国			滋賀県	全 国	滋賀県	全 国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	四類	鳥インフルエンザ	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0		ニパウイルス感染症	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	1	0	170
	南米出血熱	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	2
	ペスト	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0		鼻疽	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0		ブルセラ症	0	0	0	0
	結核	26	1,824	254	28,763		ベネズエラウマ脳炎	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0		ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0		発しんチフス	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0	0		ボツリヌス症	0	0	0	3
三類	コレラ	0	0	0	3		マラリア	0	5	2	73
	細菌性赤痢	0	10	0	213		野兔病	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	0	49	37	3,746		ライム病	0	0	0	11
	腸チフス	0	6	0	35		リッサウイルス感染症	0	0	0	0
	パラチフス	0	5	0	23		リフトバレー熱	0	0	0	0
四類	E型肝炎	0	4	0	116	類鼻疽	0	0	0	0	
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	レジオネラ症	0	73	10	892	
	A型肝炎	0	7	1	158	レプトスピラ症	0	1	0	30	
	エキノコックス症	0	1	0	15	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	
	黄熱	0	0	0	0	五類	アメーバ赤痢	1	74	13	925
	オウム病	0	0	0	6		ウイルス性肝炎	0	14	4	233
	オムスク出血熱	0	0	0	0		急性脳炎	0	52	3	349
	回帰熱	0	0	0	0		クリプトスポリジウム症	0	0	0	6
	キャサヌル森林病	0	0	0	0		クロイツフェルト・ヤコブ病	0	12	2	181
	Q熱	0	0	0	1		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	18	3	242
	狂犬病	0	0	0	0		後天性免疫不全症候群	3	105	9	1,406
	コクシジオイデス症	0	0	0	2		ジアルジア症	0	5	1	71
	サル痘	0	0	0	0		髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	15
	腎症候性出血熱	0	0	0	0		先天性風疹症候群	0	1	0	5
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0		梅毒	1	75	1	883
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0		破傷風	0	6	0	116
	炭疽	0	0	0	0		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0
	チクングニヤ熱	0	1	0	9	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	10	0	91	
	つつが虫病	0	26	1	428	風しん	0	339	12	2,353	
	デング熱	0	10	2	220	麻しん	0	23	1	293	
東部ウマ脳炎	0	0	0	0	動物の 感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	0	0	0	0	
						細菌性赤痢のサル	0	0	0	1	
*1 感染症発生動向調査における暫定報告数(国立感染症研究所感染症情報センター、H23.12現在)							エキノコックス症の犬	0	0	0	0

滋賀県における全数報告感染症の概要 (1月)

<結核> 26名 性別:男性 17名、女性 9名
 類型:患者 22名、無症状病原体保有者 4名
 病型:肺結核 15名 その他の結核 7名
 無症状病原体保有者 4名

<アメーバ赤痢> 女性 40歳
 推定感染経路は不明で、推定感染地域は日本国内です。また、病型は腸管アメーバ症です。

<後天性免疫不全症候群>
 男性 34歳、63歳 女性 68歳
 推定感染経路は異性間性的接触 2名、同性間性的接触 1名で、感染地域は3名とも日本国内です。また、病名は、AIDS 1名および無症候性キャリア 2名です。

<梅毒> 男性 64歳
 推定感染経路は不明で、推定感染地域は日本国内です。また、病型は無症候(無症状病原体保有者)です。

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といいます。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

1月の概要

<インフルエンザ>

第1～5週(12/31～2/3)には、毎週連続して増加しました。第3週(1/14～1/20)にインフルエンザ注意報が県内全域に発令され、第5週(1/28～2/3)にはインフルエンザ警報が県内全域に発令されました。第5週の県全体の定点当たり患者数は28.57でした。また、第2週(1/7～1/13)にB型インフルエンザウイルスが、今シーズン(平成24年9月3日以降)になって初めて、県内で検出されました。

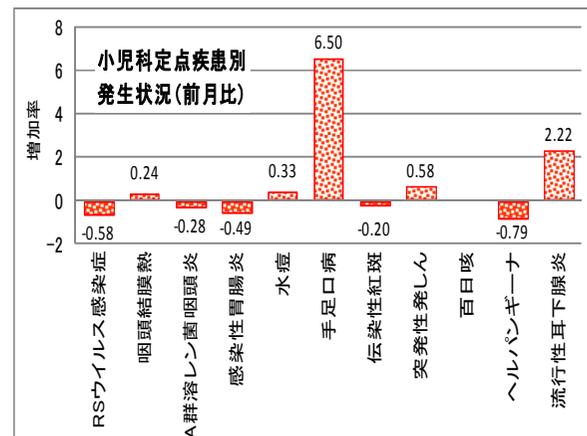
<小児科定点疾患>

右記グラフ(小児科定点疾患別発生状況)に示すとおり、前月より増加した疾患は手足口病、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等で、減少した疾患はRSウイルス感染症、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ等でした。各疾患の週別発生状況は、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照。

RSウイルス感染症——先月より大幅に減少し、今月の患者報告数は134名でした。

感染性胃腸炎————先月の約半減となり、今月の患者報告数は919名でした。

手足口病————先月より急増し今月の患者報告数は15名ですが、大部分は高島保健所管内からの報告でした。また、県全体では、昨年同時期(患者報告数117名)より大幅に少なくなっていました



<眼科定点疾患><基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月の2.5倍増となり、彦根および長浜保健所管内以外からの報告でした。急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。基幹定点疾患であるマイコプラズマ肺炎は先月より増加し、大部分は長浜保健所管内からの報告でした。クラミジア肺炎は甲賀保健所管内からの報告でした。また、細菌性髄膜炎および無菌性髄膜炎の報告はありませんでした。

<インフルエンザ(入院)>

第1～5週に、インフルエンザ入院患者 55名の届出がありました。性別では、男性 34名、女性 21名でした。年齢別では、1歳未満 6名、1～4歳 18名、5～9歳 13名、10～14歳 1名、15～19歳 1名、30～39歳 1名、60～69歳 1名、70～79歳 5名および80歳以上 9名でした。保健所管内別患者報告数および年齢別性別患者報告数については、下記表に示すとおりです。

また、全国における第1～5週の入院患者数は4,615名でした。

<疑似症定点からの報告>

報告はありませんでした。

インフルエンザ入院サーベイランス
における発生状況
(平成25年第1～5週、H24.12.31～H25.2.3)

保健所管内別患者報告数(人)

保健所	患者数
大津市	7
草津	1
甲賀	5
東近江	12
彦根	4
長浜	13
高島	13
計	55

年齢群別性別患者報告数(人)

年齢群	男性	女性	計
1歳未満	5	1	6
1～4歳	12	6	18
5～9歳	9	4	13
10～14歳	1	0	1
15～19歳	1	0	1
20～29歳	0	0	0
30～39歳	0	1	1
40～49歳	0	0	0
50～59歳	0	0	0
60～69歳	0	1	1
70～79歳	1	4	5
80歳～	5	4	9
合計	34	21	55

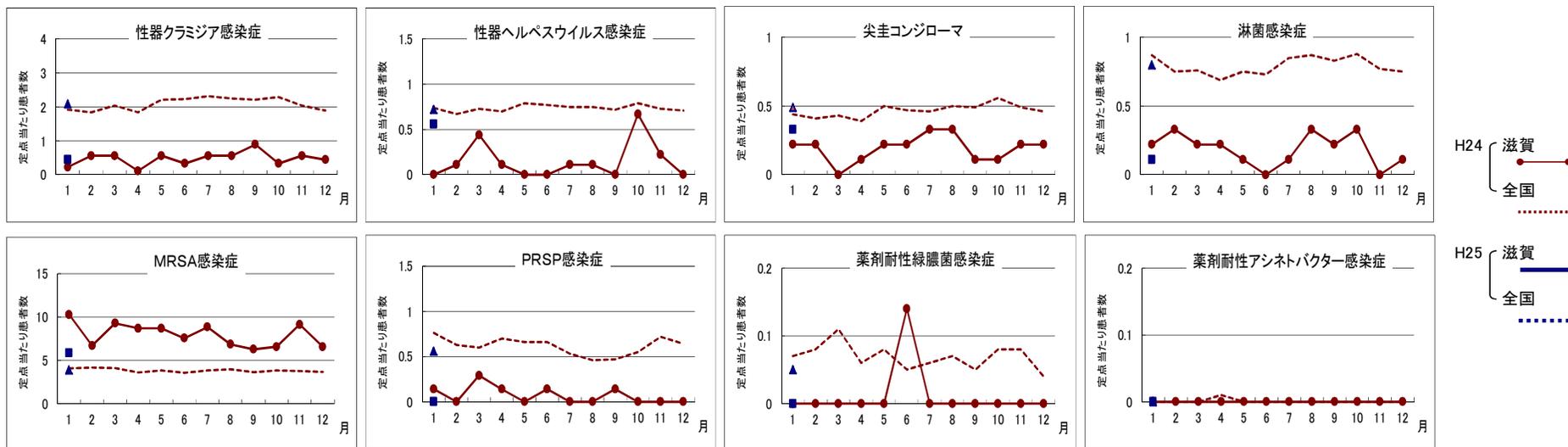
<各定点の対象疾患>

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成 25年1月)

疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	報告数	4												4
	定点当たり患者数	0.44												0.44
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	5												5
	定点当たり患者数	0.56												0.56
尖圭コンジローマ	報告数	3												3
	定点当たり患者数	0.33												0.33
淋菌感染症	報告数	1												1
	定点当たり患者数	0.11												0.11
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	報告数	41												41
	定点当たり患者数	5.86												5.86
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	報告数	0												0
	定点当たり患者数	0												0
薬剤耐性 緑膿菌感染症	報告数	0												0
	定点当たり患者数	0												0
薬剤耐性 アシネトバクター感染症	報告数	0												0
	定点当たり患者数	0												0

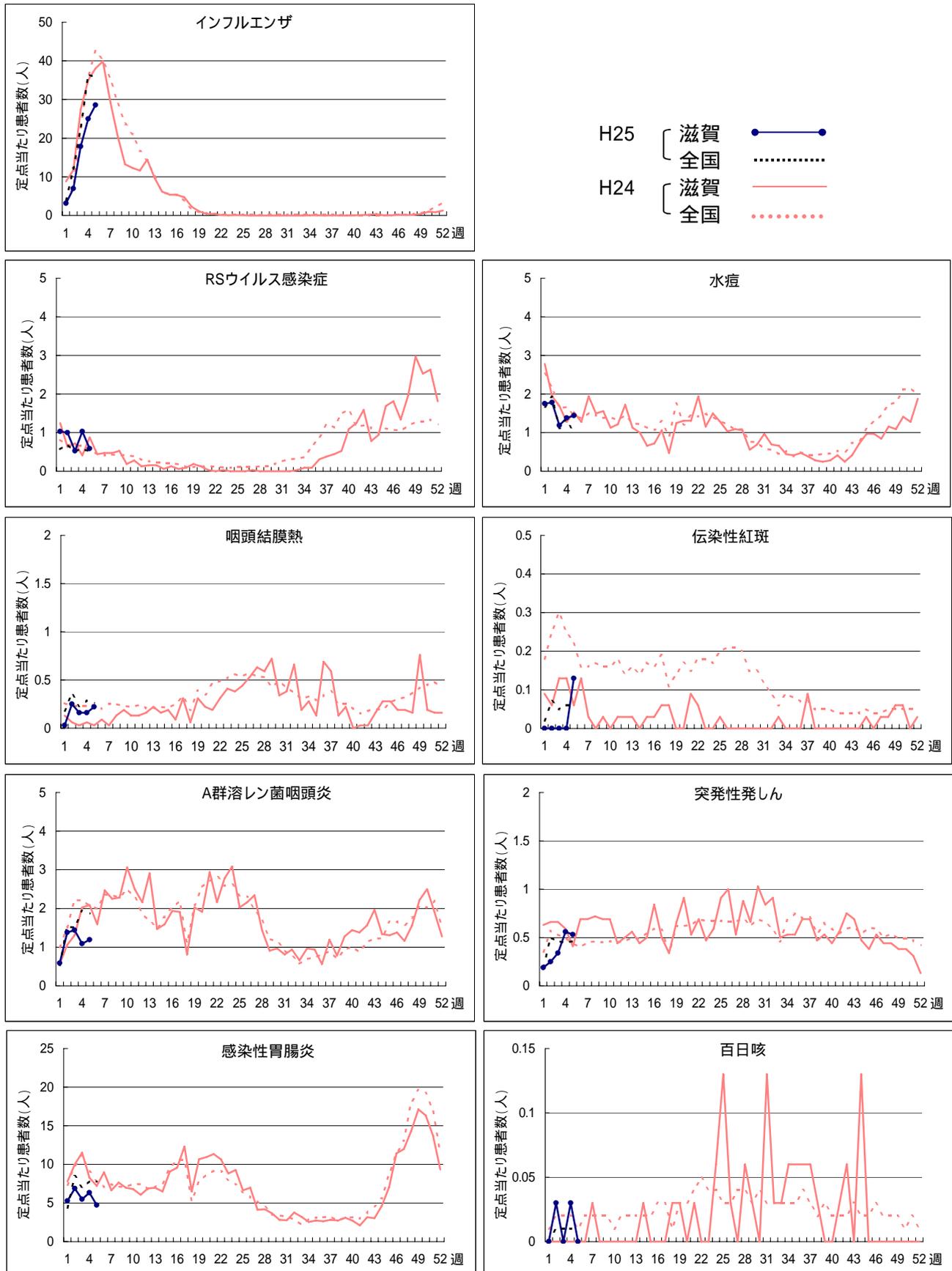


*平成25年1月のデータは、全国▲、滋賀県■として表示しています。

MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌

滋賀県における発生状況は上記に示すとおりです。先月(平成24年12月)と比較すると、増加した疾患は性器ヘルペスウイルス感染症および尖圭コンジローマで、減少した疾患はMRSA感染症でした。性器クラミジア感染症および淋菌感染症は横ばいでした。また、PRSP感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症および薬剤耐性アシネトバクター感染症については報告はありませんでした。

疾病別定点当たり患者数(平成25年第1～5週、H24.12.31～H25.2.3)



疾病別定点当たり患者数 (平成25年第1~5週、H24.12.31~H25.2.3)

H25 〔滋賀 〇 全国〕 H24 〔滋賀 — 全国〕

